

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。

2023
01
2022年12月 第256号

NPO The Cornerstone Orphanage
礎の石孤児院



みんなで久しぶりに出かけました!(カンボジア孤児院)

昨年は様々な御支援や御協力を頂き本当にありがとうございました。

国内では防衛費をめぐる増税論議で2022年が終わるかたちとなり、いまだ続くロシアとウクライナの戦闘と絡み、2023年が良い年になることを願いつつも、不安な要素が多く目につく年越しとなりました。

そのような中で、カンボジアの孤児院では最初の子供であったヴィナスが本格的な自立を考えているようです。カンボジア孤児院は設立から20数年を経過し、今回のヴィナスの自立を契機に、子供達の成長を振り返ってみると、皆様には多大なる御支援を賜っていたことを再認識させられ本当に感謝の思いに絶えません。

この2023年、孤児院の子供達は色々な意味で大きく成長していくと思います。また不安定な世界情勢の中、助けなければならない子供達も増えていくでしょう。

これからさらに重責となるであろうこの孤児院の働きを、この一年、さらに皆様と共に尽力していきたいと思っております。

どうぞこれからも御支援、御協力、また、御指導御鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。コロナの影響で3年ほど何処にも遊びに出かけられない状態が続きましたが、今年はやっと子ども達とスタッフ達と共に掛けることが出来ました。12月に入って、雨の日もまだ多く天候が一番心配でしたが、出掛けたその日は1日中お天気で大変助かりました。今回は、山もあり海もあるプノンペン市から3時間ほどの距離にある地方まで行ってみました。間近で見る山々と緑いっぱいの景色に感動し、滝が流れる所まで沢山の階段を上って行きましたが初めて見る滝にも感動していました。その後海側に行って、久しぶりの海で泳いだり遊んだり時間も忘れるぐらい子ども達は大笑いしていました。怪我や事故もなく、守られて無事に戻ってくることが出来ました。皆様からのご支援に心から感謝いたします。M校は、1月から新学期となっています。特に小学生たちは、休みの間はスケジュールを組んで、孤児院スタッフ達と学ぶ時間を持つようにしています。これから、どのような1年の学びになるのか、子ども達と共に私達もワクワク期待しています。



滝の所で記念撮影!

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援とご協力を心から感謝致します。

子どもたちは10月末から5日間の学期の中休みがあり、リフレッシュしてまた通常授業に戻っています。

週3日だった学校での対面授業が、11月からは週5日になりました。感染防止対策を取りながらの学校生活ですが、最近は突然の雨が多く、気候が不安定なため、咳や風邪が流行っているの、子どもたちの誰一人として、どんな病気にもならないようにと願っています。

今年度(2022年-2023年)の学費及び学用品費として6,209.82ドル(約92万円)が必要です。このために皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

長年に渡り礎の石孤児院、特にフィリピンの働きを支えて頂いて、心から感謝しております。

皆様のご支援無しにはこの働きは出来ません。

子どもたちの将来を希望あるものとするために、引き続き皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



学校行事も感染防止対策を取りながら行われています

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の温かいご支援に、心から感謝申し上げます。

ザンビアは2カ月遅れで雨期に入りましたが、ほとんど降らず、ダムの水不足で一日6時間の停電が始まっています。数年前の悪夢のような生活(半年間ほぼ毎日12時間の停電が続きました)が、再び始まるのかと心配しているところです。最低でもソーラーパネルの設置などでwifiやPC,携帯の充電、冷蔵庫などの電量を確保できるようにできると良いのですが...来年に新たに小学校に受け入れる孤児たちの調査が終了し、選定を行っているところです。エイズによって親を亡くした孤児、本人も陽性で、かつ生活に困窮している子どもたちを優先的に受け入れ、これで全約100名の孤児たちが学ぶことになります。そのためには、制服代29万円、文房具代20万円(1学期分)、給食に係る物品(大鍋、皿、カップ等)5万円、が緊急に必要なになります。また毎月の給食費20万円、教員への給与13万円が必要になります。どうか皆様のご支援を心よりお願い致します。



孤児の家庭訪問

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。暑い日々が続いていましたが、雨が降ってきて、過ごしやすくなりました。雨の恵みに感謝しました。この文章を書いている今日は、支援している児童学習支援施設のクリスマスパーティーにお招きいただき、ビーチサンダルのプレゼントの一部をお渡ししてきました。いつもプレゼント企画のためにご助力いただいているスタッフのタルシーゾさん(写真右上)、副理事長のクリスチーナさん(右上2)、社会福祉士のイヴェッチさん(右上3)とご挨拶することができました。子供たちの父兄の方々がたくさん集まり(左上)、タルシーゾさんの司会のもと(左下2)、子供たちの歌や劇がありました(真ん中、左下2)、施設内を案内していただき、許可を得て撮影させていただきました(真ん中と右下)。ビーチサンダルのためにご寄付くださった皆様に心より感謝いたします。さらに一部をこれから準備してお渡しします。皆様のご支援とご寄付をありがとうございます。さらなるご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



児童養護施設の様子